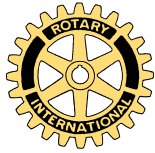


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2596回例会プログラム

[当年度=38回目；当月=2週目]

2008年（平成20年）6月9日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 米山奨学生挨拶
……スリ・クンチョロさん
9. 退会会員挨拶……御友 重孝 会員
横内 則之 会員
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/16) …… 新入会員アワー
深谷 嘉英 会員
水野 宏幸 会員
(6/23) ……クラブ協議会
現理事挨拶
2. クラブ協議会……………〈司会：次年度幹事〉
- 13:05 15. 次年度方針の発表……次年度会長
16. 次年度委員会別事業計画の検討
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言
- 13:30 19. 散会

ビ ジ タ ー

加藤 知成 様（東知多 RC）

ゲ ス ト

米山奨学生 スリ・クンチョロさん

出 席

会員総数 94名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 82名
欠席 6名 出席率 93.18%
前々回（5/26）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 原田光二会員と野村紀代彦会員に、ポール・ハリス・フェローの認証状が届いておりますのでお渡しします。
- 2) 野村紀代彦会員と私、橋本恭典に、第1回米山功労者の感謝状が届いておりますのでお渡しします。
- 3) 6月7日（土）に地区役員及び会長幹事懇親会が名鉄グランドホテルで開催され、私と鈴木幹事が出席してまいりました。その席上で当クラブがガバナー賞を頂きましたので、ご披露申し上げます。

幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後、大会議室にて、当年度次年度合同理事・役員・委員長会議が開催されます。ご関係の皆様は、よろしくお願いたします。

委 員 会 報 告

●ロータリー財団委員会

- 1) ロータリー財団年次寄附は、お蔭様で60名を越えました。事務手続上6月16日を〆切といたしま

す。来週のかげ込み寄附をお待ちしております。

●環境保全委員会

- 1) 環境省から愛知県、RI 第2760地区を通じて、「地球温暖化防止のためのCO₂削減／ライトダウンキャンペーン」への協力依頼がありました。6月21日(土)と7月7日(月)〔洞爺湖サミット初日〕の午後8時から午後10時まで、全国のライトアップ施設の電気を一斉に消すことを呼びかけます。協力頂ける企業は「ライトダウンキャンペーン」ホームページに登録のうえ、参加ください。詳しい資料は事務局にあります。

会長あいさつ

橋本 恭典



宇宙ステーションに日本実験棟の「きぼう」を無事装着し、任務遂行中の星出宇宙飛行士を、改めて祝福したいと思います。無事に任務を終えられ、帰還されるよう願っております。

さて思い返しますと、ソ連のガガーリン少佐が初めて宇宙飛行をした時の新聞記事に心が躍ったり、アポロ11号の阿姆斯特朗船長が月面に降り立った時のテレビの映像には大変感動したものでした。スペースシャトル打ち上げ初期の頃も、時間に関係なくテレビに釘づけになっていた覚えがありますが、最近では定時のニュースで知り「ああ打ち上げが成功したな」という程度のもとなっている位、感動の少ないものとなっておりますが、皆様いかがでしょうか。

さすがに今回は、日本人の宇宙飛行士が日本の実験棟を宇宙ステーションに取り付けるということで、少しは注意してみますが、国際宇宙ステーションは、これからどうなっていくのだろうと素朴な疑問が湧いてきました。

国際宇宙ステーションは、アメリカ、日本、カナダ、ヨーロッパ各国、ロシアが協力して計画を進めている有人宇宙ステーションで、宇宙での特殊な環境を利用した実験や、研究を長期間にわたって行うものです。2016年の最終年度までの予算は16兆円程に上る大変な金額です。聞くところによれば、日本はその12%程度の負担だそうです。

当初の計画では、2006年完成で7人が常駐する計画でしたが、2003年2月のスペースシャトルコロンビア号の事故で一時中止、また、アメリカの予算削減などで未だに完成には至っておらず、最終的な完成は難しいと思われるくらい予算が削減されておまして、現状3人の常駐で切り盛りしております。NASAは、先週火星の北極点付近に無人船の着陸を成功させており、国際宇宙船から火星や木星の分野に力を注いでおります。

因みに国際宇宙ステーションは高度約400km上空に建設されており、未だ完成には至っておりませんが、最終的には長さは110m、幅80m、高さ42m、重さが415ト

ンの太陽電池パネルが大きなスペースを占めますが、どでかい設備になります。緊急帰還用にはロシアのソユーズをステーションにドッキングさせており、約90分で地球を一周し、少しずつ高度が下がってきますので、時々エンジンを噴射させ高度を維持しております。

今回の「きぼう」の大きさは長さ11.2m、直径4.4mの円筒形です。常駐している人の居住棟は長さ13m、外径4.2mの円筒で、重量19トンです。居住棟や実験棟の内部は、地球の大気とほぼ同じ状態に保たれているため、宇宙服は必要ありません。居住棟には寝室、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫などがあり、快適な環境のようですが、現在トイレが故障しておりますので、大変です。トイレはロシア製でロシアが急ぎょ新しいトイレを準備し、今回の星出さんたちにより届けられました。因みにトイレは地球と同じスタイルで行い、足を固定して座りバキュームで吸い込み真空にして乾燥させる仕組みです。故障中の利用方法は私には分かりません。

国際宇宙ステーションのそもそものは、アメリカが1980年代にスペースシャトルと同時に宇宙ステーションの建設計画を立てていたものです。予算削減によって一時中断され、冷戦の終結に伴って更に予算を削減されたNASAは、アメリカ1国での建設を断念し、世界各国へ協力を呼びかけ、1990年代になって宇宙ステーションに「国際」という文字が加わり、日本やヨーロッパ各国が協力しておりますが、スペースシャトルの事故や、ずさんな予算計画で度々変更されながらようやく今日に至っております。

もともとはアメリカとソ連の冷戦下、軍事分野での開発が主体で、NASAもソ連の宇宙開発機関も軍の関連組織で宇宙飛行士も軍人でした。アポロ計画もソ連より先に人間を月に到達させることが目的でしたので、膨大な予算も軍事費と同列の扱いでした。

スペースシャトルは2010年で退役することになっており新たな建造計画はなく、その後は1回だけ使用できる、ロシアでソユーズと同類のオリオンに代わるようになっております。どうやらスペースシャトルよりもソユーズタイプの方が安全で、費用も安上がりだと言われております。いずれにしても来年には「きぼう」も完成するそうで、その成果を期待することと、星出飛行士の安全な帰還を祈願して挨拶とさせていただきます。

米山奨学生挨拶



スリ・クンチョロさん

退会会員挨拶



御友 重孝 会員



横内 則之 会員

次年度方針発表

会長 塚本 幸夫



創立55周年を皆様で楽しみましよう！

刈谷 RC 創立55周年という節目に会長の大役をお引き受けすることになりました。甚だ力不足ではありますが、大音副会長、廣根幹事、羽田会場監督をはじめ優秀な理事・役員・委員長の皆様にお支え頂き、誠心誠意努力して参ります。

現在日本の RC は、会員数が減少傾向にあり一つの大きな曲がり角に立っているようです。幸い当クラブでは、会員数も維持でき活動も活発に行なわれておりますが、更なる長期的な展望に立って一層の活性化を図って参りたいと思います。

そういう意味でも今年の創立55周年は、“楽しく GOGO (55)” ということで実行委員会を中心に“楽しいメモリーイヤー”とすると共に、さらなる活性化の出発点にしたいと願っています。何卒会員の皆様のご支援、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

08—09年度 李 東建 (リー・ドンカン) RI 会長テーマ

Make Dreams Real 夢をかたちに

「子供たちのために」

水保全 保健・飢餓救済 識字率向上

08—09年度 片山 主水 地区ガバナー方針

持続可能な前進！

組織運営で・奉仕活動で・会員増強で…

(ロータリーに心を ロータリーを心に ロータリーの心を)

重点事項

- ①ロータリーの綱領(目的)の再確認
- ②地区 分区 クラブ管理運営機構の整備
- ③調和の奉仕
- ④人的・物的資源の維持強化

08—09年度 刈谷ロータリークラブ運営方針

本年度は、“絆を深めよう！”を重点テーマとして取り組み、クラブの実状に即した RI 会長方針並びに地区

ガバナー方針の実現を目指す。

テーマ “絆を深めよう！”

- ・地域との絆(地域あつてのクラブ、今一度地域にしっかり目を向ける)
- ・会員同士の絆(会員あつてのクラブ、会員相互のさらなる交流を深める)
- ・未来への絆(未来へ向けて着実に前進できるクラブづくり)

重点実施事項

- ①創立55周年記念事業の推進
- ②世代間交流の増進
- ③長期計画に基づく会員増強
- ④魅力ある例会運営
- ⑤クラブリーダーシッププラン (CLP) の検討



当年度及び次年度合同理事・役員・委員長会議

- I 会長挨拶 <会長>
- II 次年度会長挨拶 <次年度会長>
- III 当年度議題
 1. ミャンマー・サイクロン被害、中国・四川省地震義援金について <国際奉仕委員長>
 2. 530運動推進連絡会年会費(特別会員)について <環境保全委員長>
 3. 新入会員について <幹事>
 4. 出席規定適用免除の申請について <幹事>
 5. 年次報告書について <幹事>
 6. その他
- IV 次年度議題
 1. 7月・8月のプログラム(案)について <次年度プログラム委員長>
 2. ひかりの家バザーに対する後援について <次年度社会奉仕委員長>
 3. わんさか祭り協賛について <次年度社会奉仕委員長>
 4. 報道関係者との懇談会について <次年度広報委員長>
 5. 事業計画(案)について <次年度幹事>
 6. 55周年記念事業について <55周年準備委員長>
 7. 第1回理事・役員・委員長会議開催について(7月7日～8日) <次年度幹事>
 8. その他
- V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ